

教科	公民	科目	公共	履修区分	必履修	使用教科書	東京書籍『公共(901)』
添削指導回数	6	面接指導回数	2	単位認定試験回数	1	副教材等	NHK高校講座

学習の目標

①現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手がかりとなる概念とともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。
 ②現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手がかりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。
 ③よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、公共的な空間に生き国民主権をになう公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

学習に取り組む際の注意事項

添削指導	提出期間に間に合うように提出する(タブレットは1枚ずつ、紙は6枚ずつ)。
面接指導	各期に開講する番号を確認し計画的に出席する。 ●視聴票：面接指導の出席と合わせ、①～②の計2時間となるように提出する。 ※視聴票による減免は原則1時間(6割減免)まで。
単位認定試験	添削指導、面接指導(視聴票を含む)を全て修了後に受験。
単位修得(認定)に当たっての基準	
評価方法	各単元ごとに3観点で評価(A・B・C)し、すべての学習内容修了後に総合的に判断する。

学習内容・計画

単元名(教科書ページ)	添削指導 No.	面接指導				単位認定 試験	観点別評価	
		開講番号	開講期	視聴票			観点	評価規準
				NHK高校講座	東京書籍			
p. 10-35 青年期を生きる私たち 他者とともに生きる人間としてのあり方 公共的な空間における倫理	1	①	Ⅰ・Ⅲ期	1, 2, 3, 4	全課程から問題を選出し、出題する。	知識・技能	青年期に生きる自己形成の課題、現代社会の特質やキャリア開発の意義、シティズンシップの意義について理解する。また、目的論と義務論、帰結主義による功利主義と徳倫理学の考え方、道徳法則や自律の意味、公正としての正義の考え方についてを理解する。	
P. 36-55 公共的な空間における基本的原理	2					思考・判断・表現	人間の活動の急速な拡大がもたらしている環境問題にかかわる思想や環境倫理について理解し、功利主義と義務論の考え方を手がかりに、環境についての倫理的課題について、考察する。	
						主体的に学習に取り組む態度	よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	
p. 58-85 民主政治と私たち	3	知識・技能	社会における利害の調整のしくみとしての市場の働きと国家の役割、及びそれぞれの課題について理解する。国家による調整は、立憲主義に基づく手続きによることを理解する。社会における意見や利害の調整、意思決定における民主主義の意義、それらの課題について理解する。					
		思考・判断・表現	公共的な空間における基本的原理の一つである、人間の尊厳と平等について、その意義、歴史的展開、現代の動向について理解し、課題について考察する。					
		主体的に学習に取り組む態度	よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。					
p. 86-115 法の働きと私たち	4	知識・技能	政治の働き、民主主義を理解し、現代の民主主義の課題を考察する。三権分立と国会の地位、国会の役割と権限、国会の構成と運営を理解する。内閣と国会との関係、内閣の役割と行政組織、行政国家化と行政改革を理解する。民主政治と選挙制度、日本の選挙制度と課題、世論形成や利益集団を理解する。					
		思考・判断・表現	地方自治、地方財政の原則やしくみ、住民参加の形態と意義を理解し、地方自治の課題を考察する。有権者の意思をよりよく反映するという視点から、日本の選挙制度の課題について考察する。					
		主体的に学習に取り組む態度	よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。					
p. 116-151 経済社会で生きる私たち	5	知識・技能	法の特徴・役割・区分とそれぞれの特徴、法案の作成と提出、民事裁判と刑事裁判、裁判における法の適用、法の解釈の意味を理解する。契約自由の原則、契約の種類、契約自由の原則の修正、契約の種類とその特徴、契約自由の修正を理解する。消費者契約の特徴、消費者法制と消費者の権利、消費者主権と消費者市民社会形成などについて理解する。					
		思考・判断・表現	司法権とその独立、裁判制度のしくみ、違憲審査権について理解し、刑事司法の課題や司法への民意の反映の意義と課題について考察する。					
		主体的に学習に取り組む態度	よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。					
p. 164-217 国際社会のなかで生きる私たち 持続可能な社会づくりに参画するために	6	知識・技能	経済活動の意義、経済主体と経済循環、グローバル化のなかの経済活動の動きを理解する。市場経済における価格の動き、政府の役割、景気変動と物価を理解する。貨幣の役割と通貨制度、直接金融と間接金融、金融システム、金融市場と金利の動きを理解する。					
		思考・判断・表現	財政問題について、資料を読み取りながら問題解決の方向性を考察する。社会保障の意義と歴史、日本の社会保障制度について理解する。雇用・労働やそれに関わる権利を理解し、現代のさまざまな労働問題や労働環境の改善を考察する。					
		主体的に学習に取り組む態度	よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。					
		知識・技能	国際社会の成立や特色、国際法の意義と役割、国際社会の主体の変化、課題を理解する。核兵器について世界の動きを理解する。為替のしくみ、国際通貨制度、国際金融の動向を理解する。現在の国際経済秩序を理解する。					
		思考・判断・表現	平和主義と日本国憲法第9条、自衛隊と日米安全保障、戦後日本の防衛政策を理解し、人権保護のための他国や国際機関の武力介入について考察する。					
		主体的に学習に取り組む態度	よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。					